

〔 中部小体研 〕  
28年度のあゆみ

研究主題

勢いのある中部の体育～はずむ心 豊かな学び 確かな力～

1 研究の仮説

- ◇ 友だち・教師・学習の場やルール・教具などとの関わり合いと学び合いを重視した学習を開いていけば、いろいろな動きや技能・知識を身に付け、体力の向上を目指すとともに、自ら学び、自ら考え解決する力を身に付けた子どもを育成することができるであろう。
- ◇ 子どもの発達段階に応じて、身に付けさせたい力を明確にし、運動の特性（動きのおもしろさ）にふれ、楽しさを味わう単元構成や学習過程の工夫を行うなど、指導法や評価を工夫・改善することで、「わかる喜び」「できる喜び」を感じられるであろう。

2 研究の視点

- ◇ 指導内容の明確化と体系化
  - ・系統性を踏まえた指導（年間指導計画の実施と見直し）
  - ・ねらいを明確にした指導（単元を通して育てたい児童像（ゴールイメージ）の明確化）
- ◇ 指導法の工夫と改善
  - ・運動の特性（動きのおもしろさ）にふれ、楽しさを味わう場の設定や教具の工夫
  - ・人、もの、こととの豊かなかかわりを工夫した学習展開
  - ・「習得、活用・探究」型の授業の追究
  - ・「わかる喜び」「できる喜び」を味わうことができる支援の在り方（「資料提示」「示範」「助言・補助」「賞賛」「環境づくり」「発問の工夫」など）
  - ・ねらいを達成するための体育的言語活動の充実
- ◇ 学習評価の工夫
  - ・体育ノート・学習カード等の効果的な活用
  - ・アンケートや振り返りを活用した授業評価と授業改善

3 本年度の主な活動内容

4月20日 総会（本年度の研究、研究発表大会の概要等）

6月 8日 一斉研（授業研究会）

・1年「どうぶつランド」（表現リズム遊び） 授業者 澤 智子（高城小学校）  
山本 敦

・3、4年「タグラグビー」（ゲーム） 授業者 松本幸治（高城小学校）  
山根未悠

8月 2日 夏季一斉研

・中四国体育研究発表大会分科会提案について  
・グループ別指導案検討会

10月 5日 一斉研

・大会当日の運営について、分科会の運営について

10月21日 第54回中四国小学校体育研究発表大会分科会提案発表

・ボール運動（ゲーム）領域「タグラグビー」 発表者 磯尾和彦（小鴨小）

11月11日 中小研体育研究発表大会（高城小学校）

2月 8日 一斉研

・本年度の取り組みのまとめ、29年度の研究の方向について

○その他 研究成果刊行